

2015 年度「海外研修」

EU 圏を中心とした文化国際関係研修プログラム(“国際関係研修”)

【テーマと目標】

- 学習テーマは、総じて文化の観点から EU (欧州連合) 及び広く国際関係について。
- そのため、(1)学術的側面(事前の講義・演習と、現地での合同ゼミ)、(2)実務的側面(EU の欧州議会ないし欧州対外行動庁、UNESCO、OECD への訪問と議論)の双方を通じ複合的に学び、国際関係のなかで文化が果たす役割について知見を深める。

【単位数】

1 単位

【日程】

- 2016 年 2 月 28 日(日)～3 月 9 日(水)
- 現地プログラムはこの日程で、加えて事前に講義・演習、帰国後には成果の確認と定着のための報告会を行う

【担当(企画・指導・引率)】

坂井一成(日欧連携教育府長／国際文化学研究科教授)

kazu@harbor.kobe-u.ac.jp(研究室:E407)

【募集人数と応募方法】

- 13 名(国際文化学部、国際文化学研究科博士前期課程所属の正規学生)
- 正規学生であれば留学生も履修は可能だが、JASSO 奨学金は対象外となる
- 卒業年次の学生は対象外(ただしオブザーバー参加も認めることがあるので、個別に坂井に相談のこと)
- 国際文化学研究科の HP から申請書をダウンロードし、パソコンで入力し提出(メールに添付、及び紙媒体でも提出)

【経費関係】

- JASSO からの奨学金(一律 10 万円の予定) + 足りない部分は自費負担
- ※ただし JASSO の基準を満たさない場合は支給されない場合もある(教務学生係に確認のこと)

【研修先での使用言語】

原則として英語

- ※必須ではないが、フランス語が使えると大きなプラス材料にはなる

【参加決定後の準備と流れ】

(1)生活面・・・学生自身で行う

- ✓ 航空券の手配、宿の手配
- ✓ 留学生危機管理サービス(OSSMA)登録、JASSO 奨学金申請手続き・・・教務学生係にて
- ✓ 海外旅行保険加入

(2)学習面

- ✓ 事前講義、事前課題の精読とそれに基づく演習
- ✓ 訪問先国際機関の業務についての予習
- ✓ 参加学生で協力して合同ゼミの準備(参加人数によるが、数人で一つのチームを組んで英語でプレゼン)、事前発表
- ✓ 帰国後に報告会

【訪問先と今後の研修予定】〔若干の変更の可能性あり〕

10月中旬～11月初旬 参加者募集、決定

11月～2月 事前研修(講義、事前リーディングに基づいた演習、プレゼン事前発表会など)

2月29日(月) 《現地研修開始》ミーティング@神戸大学ブリュッセルオフィス(KUBEC)

3月1日(火) ルーヴェン大学で合同ゼミ

3月2日(水) 欧州議会(European Parliament)あるいは欧州対外行動庁(EEAS)訪問

3月3日(木) パリへ移動

3月4日(金) OECD 訪問

3月5日(土) ストラスブール(仏独国境など)視察

3月6日(日) (フリー)

3月7日(月) パリ西ナンテール大学あるいはパリ・ディドロ大学で合同ゼミ

3月8日(火) UNESCO 訪問

3月9日(水) 帰国前ミーティング 《現地研修終了》

3月22日頃 事後報告会

【注意】

- 参加が確定した後になってからの取りやめは、JASSO の手続きほか、訪問先など関係各方面に多大な迷惑をかけることになるので、基本的に認めない(→「履修取消」ではなく「不可」となる)。

- 申込みに当たっては、資金面など、十分に検討、相談しておくこと。